

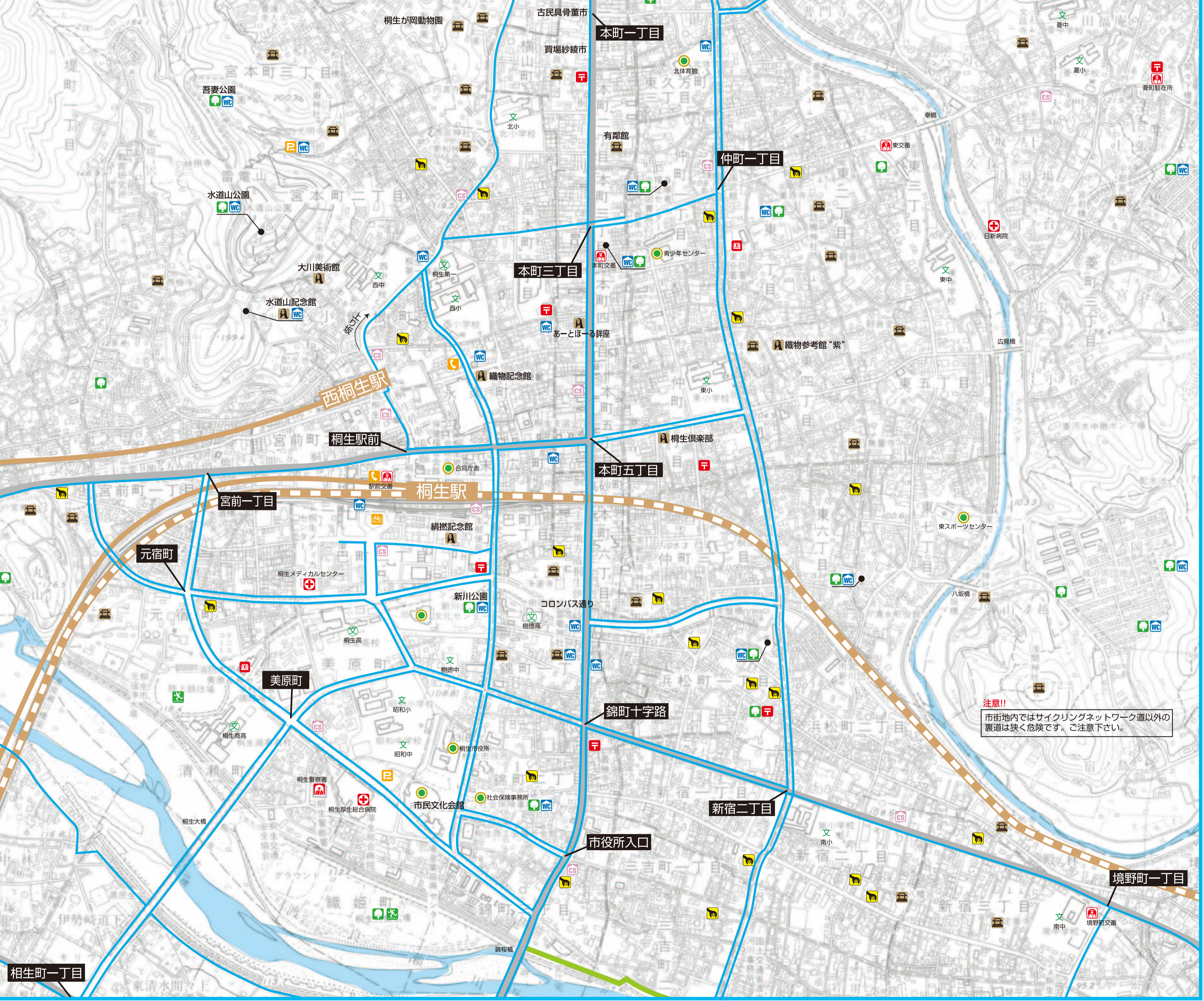
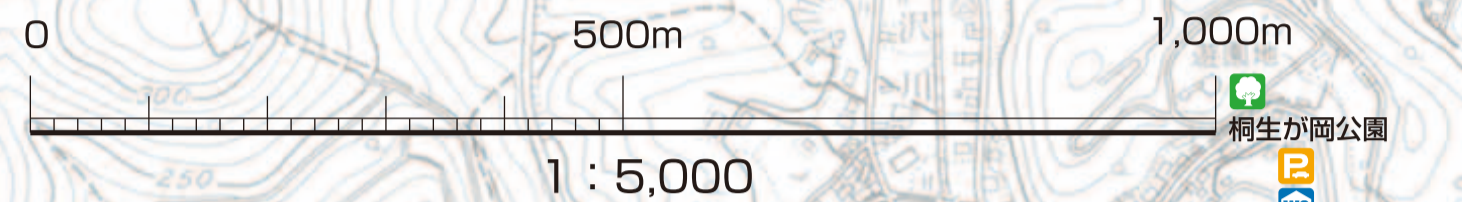
桐生市 KIRYU CITY

【凡例】施設情報の略

- 公園
- 児童遊園地
- 運動場
- 自転車
- 駅
- 公共電報
- バス停
- トイレ
- 次期み通
- 観光案内
- 郵便局
- 病院
- 交番
- 警察署
- 図書館
- 博物館・美術館
- 公民館
- 神社・仏閣
- 公共施設

サイクリングロードネットワークは、以下の3種類を組み合わせてネットワーク化しています。

- 歩道を利用した区間
- 路肩を利用した区間
- サイクリングロード



市街地拡大図



自転車で行く各所めぐり

桐生市 KIRYU CITY



織部の歴史と自然、名所旧跡、公園、遊園地...すべてが遊び場。マップを片手に、さあ出かけよう!

◎渡良瀬川周辺欲張りコース

サイクリングロードが整備された渡良瀬川。金桜橋を起点に川沿いを走り、途中公園や運動場でのんびり過ごすのはいかが。松原橋を渡って国道50号を目指せば、名所旧跡めぐりも楽しめます。上流の赤岩橋を渡り一周する約15kmのコースは、四季の自然と見どころ満載。5月上旬なら、ハナミズキが満開のコロンパス通りもオススメです

◎近代化遺産めぐりコース

古くから織物の街として栄えた桐生には、レンガ造りや三角屋根の美しくモダンな建物が数多く残っています。明治時代から大正、昭和にかけて建てられた近代遺産の数々をめぐりながら、ゆっくりと織部のロマンを感じてください。桐生駅を起点に約12km。歴史を大切にしながら新しい文化を育てる桐生の街が、もっとも好きになるでしょう。

◎アクティブ遊び場コース

家族で思いっきり楽しみたいなら、里山を遊び場にしたいこのコースがオススメ。移動距離は直線にして約1km、短いようでも坂道いっぱい走り回れるコースです。無料で入園できる動物園あり、遊園地あり、吾妻山頂からの気持ちいい眺めも見逃せません。周辺には美術館や神社仏閣も見学でき、骨董市やお祭りも定期的に催されるなど、楽しさも満載です。

群馬県サイクリングロードおもしろMAP

CYCLING ROAD MOSHIRO MAP 桐生市版

群馬県県土整備部 道路管理課

〒371-8570 前橋市大手町1丁目1-1 TEL.027-226-3600

2005年 4月 初版
2015年 2月 第9版

サイクリングのマナー

みんなで守って楽しいサイクリング!!

道路交通法では、基本的に自転車は車道の左側を走るようになっていますが、「自転車通行可」標線のある歩道では、中央から車道よりの部分を徐行しながら走るとされています。近年、自転車と歩行者の接触事故を含め、自転車に関連した事故が増加しているため、歩行者の通行を妨げないよう注意しましょう。また携帯電話の使用、無灯火走行など、自転車走行中の危険な行為は絶対にやめましょう。「サイクリングロードネットワーク計画」により、自転車が進む道を明確にして交通事故ゼロを目指すとともに、みなさんの自転車運転マナーの向上によって、より快適なサイクリングが楽しめるようにしたいものです。

群馬県が推進する環境・健康・暮らしのための自転車活用

サイクリングロードネットワーク計画

サイクリングロードネットワークって?

自転車は、排気ガスを出さないため、大気汚染につながらない。非常に環境に優しい交通手段です。地球環境の安全、健康増進の観点から、自動車利用から自転車の利用への転換が見込まれる中で、群馬県では、平成12年度から「群馬県サイクリングロードネットワーク計画」を進めています。計画延長は1,500km。県民の皆さんにとって自転車の利用しやすい環境を整えるため、国道、県道に限らず、市町村道、農道、林道や河川堤防上のサイクリングロードを連結するこの計画では、いつでも気軽に自転車を利用して頂けるよう道路整備を行い、また、郊外から市街地へのネットワーク化を図ることによって、中心市街地の活性化にも役立てたいと考えています。

さらに、バスなどの公共交通機関との連携を図るための駐輪場の整備や、自転車利用者のための木製案内標識を設置し、より良い自転車環境の創設を図っています。



サイクリングロードネットワーク計画 具体的な設備内容

歩道を利用した区間 主に市街地の歩道の歩道を利用して自転車が走りやすいように整備する区間で、通勤や通学、ショッピングなど、市民の暮らしに身近な区間として整備されています。	路肩の色分け サイクリングロードネットワーク路線であることを明確にするため、自転車の走行方向によって、歩道（赤色系）にし、また歩行者専用車道の色分け（青緑色）にするなど、自転車の走行方向を明確にします。	透水性塗料の整備 雨水を吸収する透水性の塗料を使用することで、路面の乾燥を防ぎ、また、歩行者の安全を確保します。
歩道と車道の設置解消 歩道と車道の境界をなくすパリアフリー化や、歩道から車道への段差をなくすなど、歩行者の安全を確保するための整備を行います。	路面の色分け サイクリングロードネットワーク路線であることを明確にするため、自転車の走行方向によって、歩道（赤色系）にし、また歩行者専用車道の色分け（青緑色）にするなど、自転車の走行方向を明確にします。	透水性塗料の整備 雨水を吸収する透水性の塗料を使用することで、路面の乾燥を防ぎ、また、歩行者の安全を確保します。
路肩を利用した区間 歩道のない道路に自転車の走る部分を確保する区間として、路肩を利用した区間として整備されています。また、歩行者の安全を確保するための整備を行います。	路面の色分け サイクリングロードネットワーク路線であることを明確にするため、自転車の走行方向によって、歩道（赤色系）にし、また歩行者専用車道の色分け（青緑色）にするなど、自転車の走行方向を明確にします。	透水性塗料の整備 雨水を吸収する透水性の塗料を使用することで、路面の乾燥を防ぎ、また、歩行者の安全を確保します。
サイクリングロード 自転車と歩行者がより安全で快適に走行できるように、自転車専用道路として、河川堤防を利用して整備されています。	路面の色分け サイクリングロードネットワーク路線であることを明確にするため、自転車の走行方向によって、歩道（赤色系）にし、また歩行者専用車道の色分け（青緑色）にするなど、自転車の走行方向を明確にします。	透水性塗料の整備 雨水を吸収する透水性の塗料を使用することで、路面の乾燥を防ぎ、また、歩行者の安全を確保します。
駐輪場の確保 自転車を利用する際の利便性を高めるため、バスなどを利用する際の待合所や、公共施設など、市民の生活に身近な場所に駐輪場を整備しています。	路面の色分け サイクリングロードネットワーク路線であることを明確にするため、自転車の走行方向によって、歩道（赤色系）にし、また歩行者専用車道の色分け（青緑色）にするなど、自転車の走行方向を明確にします。	透水性塗料の整備 雨水を吸収する透水性の塗料を使用することで、路面の乾燥を防ぎ、また、歩行者の安全を確保します。

始めてみませんか? 自転車の楽しみ方

サイクリングでGO!

自然を身近に感じられる!

緑あふれる山々の、なだらかな丘陵に四方をふちどられた桐生市は、古くから織物の街として栄えてきたところ。山々から流れ出る水は桐生川の清流となり、市の北から東側をぐるりとめぐって、やがて渡良瀬川に合流します。豊かな自然と、しっとりとした街並み...古いモノと新しいモノとが混じり合い、やさしいハーモニーを奏でる織部の歴史と文化。春には桜の名所、初夏の風景も和み、秋は紅葉も素晴らしい。季節の色や風を感じながら走る桐生市のサイクリングロード。街並みの中の小さな自然や公園の緑、ペダルをこぎながら見える風景は毎日色を変え、新たな発見と感動を与えてくれます。

健康維持にもってこいの有酸素運動!

サイクリングは「持久系スポーツ」特有の有酸素運動であり、ジョギングよりも身体にかかる負担が少なく、ウォーキングよりも長い時間をかけて効果が得られるスポーツです。身体には燃費力に必要な「筋力」と、持久力に必要な「筋力」があり、「筋力」が発達することで血液が細部の毛細血管までいきなり、細胞や栄養素の運搬も効率よく行われます。新陳代謝が活発化し、老廃物や疲労物質の排出も促進され、サイクリングは年齢を問わず健康維持に最適なスポーツとされています。

地球環境にやさしい!

自転車にはエンジンがなく、動かすための燃料も必要ありません。二酸化炭素を出さない、石油を消費しない自転車は、環境に優しい乗り物として世界中で人気があります。オフロードバイク(ロードバイク)のためにひとりでできること...通勤や通学、ショッピングなどに、自動車ではなく自転車を利用することも立派なエコロジーです。

消費カロリー おおよその目安!!

男性(体重65kg) x 移動距離10km = 約 312kcal
女性(体重45kg) x 移動距離10km = 約 200kcal

この地図は、桐生市長の承認を得て同市発行の都市計画基本図(1/2,500)を縮尺編集して作成した1/5,000を使用して調整したものです。